



集大成

平成29年6月29日（木）
四季が丘小学校 研究推進便り

小田先生、授業提案ありがとうございました！

6月22日（木）に行われたサテライト研修では、6年1組の国語科「新聞の投書を読み比べよう」の授業をもとに多くのことを学ぶことができました。

当日、お越しいただいた県立教育センターの長尾佳和指導主事からは、今後につながるさまざまな視点からのご示唆をいただきました。



『学習レリバンス』というキーワードをもとに、単元を通しての言語活動の必要性についてや毎時間の学習の必要性についてデザインしていくことを学びました。また、当該学年の国語科のこの教材で何を扱い、目の前の子どもたちにどんな力をつけていくのか、レリバンスでチェックしながら、思い切って削っていくという単元のシンプル化についてのお話もありました。この3年間で本校で取り組んできた単元開発や日々の授業改善につながるポイントとなる内容がもりだくさんの研修ができたことに感謝です。

協議会の終わりには、授業改善についての振り返りをみなさんに書いていただきました。4つの視点は、県教委から出されたものをアレンジ・焦点化したもので、主体的・対話的で深い学びを実現する授業には不可欠なものです。全体としての課題は「問いの精選・工夫」でした。

4月から「聴くこと」を中心とした学習規律の徹底をめざし、ずいぶんと定着できてきました。次は、子どもたちに育てている力を信じて任せる・ゆだねることにチャレンジしていきましょう。

また、授業の導入のテンポアップも意識していきましょう。導入は5分以内をめざしましょう。そうすると、交流場面や振り返りの場面でしっかりと時間確保ができ、学びの変容を見取ることができるようになります。

夏休みまであと3週間。これから暑くなり、水泳指導も始まりますが、今回の学びをいかして毎日の授業を大切につないでいきましょう。

指導案検討&事前研修、ありがとうございました。

当日の授業までに先生方からのご意見をいただき、指導案の修正・改善につなげることができました。いつも以上に先生方が自分事として授業をとらえることができたことは大きな成果であったと思います。

単元のゴールイメージを明確にし、児童が、「もっとやりたい！もっと考えたい！」という主体的な学びを促す単元を開発に取り組んでいきましょう。



「基礎・基本」定着状況調査の結果をお知らせします！



先日もお知らせしましたとおり、教科・質問紙、それぞれにこれまでの取組の成果が見える結果となりました。今後は、本調査から見てきた成果と課題をふまえ、今の学年で身に付けておくべき内容についてはしっかりと徹底した指導をしていきましょう。

	国語 (昨年度)	算数 (昨年度)	理科 (昨年度)
教科全体	76.3 (61.4)	82.0 (65.5)	67.6 (60.7)
タイプⅠ	78.5 (65.2)	85.0 (70.8)	75.9 (69.7)
タイプⅡ	66.3 (37.3)	72.4 (48.2)	57.5 (44.0)

	平均通過率95%以上	平均通過率50%未満
国語	要点の書き取り（聞くこと） ことわざ・ローマ字の書き 第2学年の漢字の書き（伝国）	叙述を基にした想像（情景）（読むこと） 文章の構成（書くこと） 情報の取り出し（書くこと読むこと）
算数	計算（数と計算・数量関係）	平行四辺形の判断（図形） 二つの折れ線グラフの関係付け（数と計算・数量関係）
理科	温度の正しいはかり方（生命）	適切な検証方法の選択・予想の根拠（物質） 虫眼鏡の使い方（生命）

6/29(木)は、第5回校内研修です。

当日は、関西福祉大学の加藤明学長をお招きし、総合的な学習の時間の理論研修を行います。4年生と6年生の実践をもとに研究の方向性について共通理解を図る時間にしたいと思っています。

加藤学長の関西弁の楽しい講義が楽しみです。



先週の金曜日に5年2組の国語の授業を行いました。討論についての学習ですから、重点指導事項は「話す・聞く」です。自分の主張を説得の工夫をして伝えるために、自分の経験や資料・数値などを入れて話すことが大切であり、説得という点では先日の小田先生の授業とつながるところが多かったです。

討論会では、たくさんの児童が自分の経験や既存の知識である内容をもとに主張を述べることができました。

その日の帰り、5-2のK君が係の仕事をしに職員室に来ました。実は、先週までK君の家族が入院をしていたようで、「大変だったね。」と声をかけました。すると、K君は、「家族が入院をして大変だった経験を言ったから、ぼくの話には説得力があったよ。」と言いました。説得の工夫を実生活とつなげ、自信をもって語るK君の笑顔はとてもすてきでした。

